

サツマゴキブリ (マダラゴキブリ科) を田辺市新庄総合公園の山道で発見

久保田 信

2008年3月17日の朝、和歌山県田辺市新庄総合公園から南紀の台に登る山道のほぼ中腹部で、枯葉にまぎれた1個体の死亡したサツマゴキブリ *Opisthoplatia orientalis* を発見したので報告する。過去10年余りこの公園の諸所を散策しているが、本種に遭遇したのは今回が初めてである。本個体は既に死亡しており、前胸部の一部が破損し、脚はまったく残っていなかった。体長が約35mmの成体で、無翅で扁平な小判形の体は黒褐色の体色だが、前胸部の背前縁に黄白色の縁取りがあった(図1)。



新庄総合公園の山道で発見したサツマゴキブリ

本種の和歌山県での報告としては、1992年にすさみ町より、白浜町では1999年以降、由良町で2001年に発見された(後藤, 2000; 的場, 2001; 樫山・久保田, 2002; 久保田, 2006a, b)。本種は南方系で四国・九州南部から南西諸島に多産するが、八丈島や小笠原諸島、静岡県、兵庫県、広島県の他におそらく千葉県でも発見されており(インターネット情報)、人家に侵入することがなくても地球温暖化に伴って野外で越冬可能となり(久保田, 2006a, b)、今後、県下各地から発見されてくると推察される。

引用文献

- 樫山嘉郎・久保田 信. 2002. 和歌山県白浜町産の熱帯系ゴキブリ類3種(ゴキブリ目、ゴキブリ上科). 南紀生物, 44(2): 153-154.
- 久保田 信. 2006a. 熱帯系ゴキブリが漂着. pp. 114-115. In “宝の海から ? 白浜で出会った生き物たち”. 紀伊民報, 和歌山県.
- 久保田 信. 2006b. サツマゴキブリ、和歌山県白浜町の海岸へ漂着. KINOKUNI, (70): 10-11.
- 後藤 伸. 2000. In “虫たちの熊野”. 初版第1版. pp. 77-81. 紀伊民報社, 田辺市, 和歌山県.
- 的場 績. 2001. 由良町白崎でサツマゴキブリ発生. KINOKUNI, (60): 10.

(くぼた しん 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459
京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)